海外レポート	**アメリカ　ニューヨーク**

「米国東海岸最大の食の展示会が開催」

蟬本　睦

＜ファンシーフードショー＞

６月25日（日）～27日（火）の３日間、ニューヨーク市のジャビッツ展示会場にて、高級食材を対象とするファンシーフードショーが開催されました。パンデミックを経て規模が縮小される展示会が多いなか、本展示会はジャビッツ展示会場のメインである３階と、さらに１階を全て使う規模となっており、主要都市が連なる東海岸では最大規模の食の展示会となっています。大変多くの来場者が訪れており、筆者は事前に登録をしていたのですが、入場バッジの受け取りに１時間もかかるほどの長蛇の列でした。

【ファンシーフードショー正面入口】

＜各国のパビリオンが競い合う＞

３階の入口を入ると、イタリア、トルコ、エジプト、モロッコ、スペイン、フランス、カナダ、ポーランド、チュニジア、サウジアラビア、韓国など多くのナショナルパビリオンが連なり、まさに、競演といった感じでした。最大規模はイタリアで、ざっと見たところ300社は出展しているのではないかと思います。

また、１階には、ニューヨーク州やニュージャージー州をはじめとする州政府が取りまとめるパビリオンのほか、飲料専門のセクションや、新規出展者のみを集めたエリアなど、まさにありとあらゆる国、地域の食が集まる、非常ににぎやかな展示会となっています。

【イタリアパビリオン】

＜ジャパンパビリオン＞

日本はというと、日本貿易振興機構（ジェトロ）が35社を取りまとめてジャパンパビリオンとして参加していました。

緑茶や、フルーツ、調味料や菓子類など、さまざまな会社が参加されていましたが、ジェトロに伺ったところ、パンデミック明けということもあり25社が新規の参加だったとのこと。ジェトロのパビリオンの募集要項によれば、中小企業には補助金付きの料金が適用され、一般料金の半額となるようです。残念ながら、広島県からの参加はないようでしたが、視察に訪れている会社もあったようで、次回以降の挑戦が望まれます。

【ジャパンパビリオン】